

令和5年度事業報告

(第58回定時総会付属資料)

一般社団法人 名古屋林業土木協会

第1回 合同委員会

令和5年4月26日 安全・技術対策委員会、環境・社会貢献合同委員会

開会にあたり、新井雅安全・技術対策委員長から、現場技術者を対象とした技術講習会や発注者との意見交換会の実施など、今年度も技術の向上、適正適切な工事が受注、施工できるよう努めていきたい。また、安全パトロールの実施など労働災害の未然防止に向けて取り組んでいきたい。など挨拶をいただきました。引き続き、柳七郎環境・社会貢献委員長からは今年度も社会貢献活動や、国有林防災ボランティア活動など引き続き取り組んでいくことなどご挨拶を頂きました。



主な議題は

- | | |
|--|----------------|
| 1 令和5年度 委員会活動計画(安全・技術対策委員会、環境・社会貢献委員会) | 4 技術向上に向けて取り組み |
| 2 令和4年度 林土連技術担当者連絡協議会(林土連からの改善要望事項に対する林野庁回答) | 5 安全関係 |
| 3 森林・林業社会貢献活動の取り組み(令和4年度森林林業社会貢献活動審査結果) | 7 その他 |
| | 8 林土連関係 |

3

すべての人に健康と福祉を



4

質の高い教育をみんなに



8

働きがいも経済成長も



11

住み続けられるまちづくりを



14

海の豊かさを守ろう



15

陸の豊かさも守ろう



17

パートナーシップで目標を達成しよう



1 「防災・減災、国土強靱化対策」の推進への協力

「選ばれる森林土木」キャラバン

令和5年6月27日 中部森林管理局大会議室及びリモート

林野庁キャラバン「選ばれる森林土木」(ESD)に向けた取り組みに関する説明会及び意見交換会が中部森林管理局大会議室及びリモートにより開催されました。

会議の冒頭、林野庁計画課 徳留施工企画調整室長の挨拶の後、林野庁担当官がそれぞれ資料に基づき「選ばれる森林土木」に向けた取り組みを説明されました。

意見交換会で主な意見

- ・選ばれる森林土木の取り組みが現場に徹底されていない。未だに設計変更に応じてくれない
- ・週休二日制に伴い実態として休日労働や時間外労働が増えている。働き方改革の施行を控え単に工期を延ばすだけでなく労務単価が増えてきていることを踏まえて労務費の検討をしてほしい。
- ・受・発注者間のコミュニケーションの対応を。現場技術者と監督員との現場レベルの意見交換会を行ってほしい。

このほか、リモート参加を含め局署担当者から活発な意見要望の発言がありました。



4

質の高い教育をみんなに



8

働きがいも経済成長も



9

産業と技術革新の基盤をつくろう



11

住み続けられるまちづくりを



12

つくる責任 つかう責任



15

陸の豊かさも守ろう



17

パートナーシップで目標を達成しよう



令和6年度予算要望活動

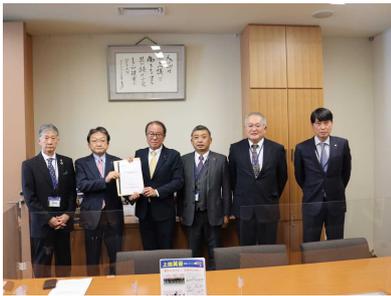
開催日：令和5年8月9日～10日

林野公共事業予算要望活動

開催日：令和5年11月21日～22日

お盆や夏休みを利用して帰省している地元国会議員に対して、来年度林野公共事業予算の確実な確保に向けた要望活動を実施しました。

林土連では、今年度の要望の柱として、森林管理局・署の技術者の育成・確保や近年の資材高騰等を踏まえた適正な利潤の確保、さらには、国土強靱化5か年加速化対策後の中長期的な森林整備・治山対策を着実に推進するための枠組みづくりを新たに要望事項としています。



地元選出の国会議員の方々へ「令和6年度林野公共事業予算に関する要望書」を提出し要請しました。

今回の重点要望は、山間地域の働き手の高齢化と若い担い手不足に加え、働き方改革に伴う時間外労働の規制、賃金の引き上げ、資材高騰に対する対応など重要な課題を解決するために、安定的な事業量と予算確保、適正な利潤の確保が必要不可欠であることから、これまで以上に林野公共事業予算等の大幅な確保を強く要望しました。

8



9



11



12



15



17



第2回 合同委員会

令和5年12月19日 安全・技術対策委員会、環境・社会貢献合同委員会

中部森林管理局 高橋 東 次長(名古屋事務所長)、同 計画保全部治山課 中村悟治山技術専門官、同 森林整備部森林整備課山田英人災害対策専門官にご出席いただき、令和5年度第2回の合同委員会を開催しました。

三尾会長から、今年も社会貢献活動や安全対策に鋭意取り組まれた各委員に感謝の言葉と、事業は安全第一で進めること、会員から提出されている改善要望については真摯に受けとめていただき対応していただきたい」と挨拶されました。

中部森林管理局高橋東次長からは、社会貢献活動など協会の積極的な取り組みに謝意を述べられるとともに、国土強靱化への対応など安全第一で進めていただくとともに、安定的な事業量確保に努めて参りたい。また、コンプライアンスの確保も重要であり受注者の協力依頼や、山間地域を支えておられ高齢化、2024問題、資材高騰など困難となる課題が多い中、現場の率直な意見を聞く貴重な機会であること。コンプライアンスを確保し十分なコミュニケーションを図って進めることが重要である魅力ある森林土木に忌憚のない意見をと挨拶されました。



3



4



8



11



14



15



17



国有林ゴミゼロ運動2023

金華山 飛騨卯の花街道ほか 付知峡自然休養林

国有林では毎年5月30日を「530(ゴミゼロの日)」として、「国有林ゴミゼロ運動」と称し、管内の自然休養林等「レクリエーションの森」や一般の入り込み者の多い林道において5月30日から6月中旬にかけて一斉清掃整備活動が行われています。この取組には名古屋林業土木協会も全面的に協力しています。



金華山国有林(国史跡、自然観察教育林、林野庁指定「日本美しい森～お薦めの国有林～」の金華山ドライブウェイ周辺

国有林の県道「飛騨卯の花街道」及び日本一標高が高いパーキングエリアがある東海北陸自動車道の松ノ木峠付近



「付知峡自然休養林」(加子母裏木曾国有林)の林道沿線

3 すべての人に健康と福祉を



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任 つかう責任



15 陸の豊かさも守ろう



17 パートナーシップで目標を達成しよう



森の巨人たち百選「宮の大イチイ」遊歩道整備

令和5年6月12日 久々野高山支部

国有林では、次世代への財産として健全な形で残していくべき代表的な巨樹・巨木を全国で100本選定し「森の巨人たち百選」として保全しています。

その中のNO.54「宮の大イチイ」(幹回り690cm、樹高25m)は、林野庁中部森林管理局飛騨森林管理署(高山市:牛尾光 署長)が管理する宮国有林(高山市一之宮町)の中腹にあり、周辺はヒノキ、サワラ、ミズナラなどが生い茂る天然林の中に生育し、2000年の刻の重みを感じさせる風格のある樹形をしています。

名古屋林業土木協会久々野高山支部(長瀬雅彦 支部長)では、毎年、「宮の大イチイ」への経路にある遊歩道等の補修等に取り組んでいます。今回は、大イチイ周辺の木製歩道・階段及び木橋床板に積もった枯れ葉や苔等の除去等清掃を行った後、腐朽を防ぎため防腐剤を塗布し、長寿命化を図りました。



3 すべての人に健康と福祉を



6 安全な水とトイレを世界中に



11 住み続けられるまちづくりを



15 陸の豊かさも守ろう



17 パートナーシップで目標を達成しよう



森の巨人たち百選「平湯大ネズコ」遊歩道整備

令和5年6月27日 神岡支部

森の巨人たち百選」(次世代への財産として健全な形で残していくべき代表的な巨樹・巨木100本)のうち、「平湯大ネズコ」(NO.55)は高山市奥飛騨温泉郷平湯キャンプ場から徒歩で30分程度登ったところにあります。

名古屋林業土木協会神岡支部(加藤勝支部長)は、毎年この活動に参加し「平湯大ネズコ」へ通じる遊歩道の整備に取り組んでいます。

夏を迎え、北アルプスの麓・平湯温泉郷にも大自然とのふれあいを求め観光客や登山者が徐々に増えてくれることを願って地元平湯町内会とも連携しての実施となりました。今年も、神岡支部会員6名で大ネズコまでの遊歩道を担当し、遊歩道に生い茂った笹などを刈り払い機で除草しました。

神岡支部では、こうした森林林業社会貢献活動の取組を通じて地域振興に寄与することを目的とし今後も地域と一体となって活動を継続していく考えです。



3

すべての人に健康と福祉を



6

安全な水とトイレを世界中に



11

住み続けられるまちづくりを



15

陸の豊かさも守ろう



17

パートナーシップで目標を達成しよう



白山白川郷「白水の滝・白水湖」周辺整備

令和5年7月20日 荘川支部

林野庁が設定している「レクリエーションの森」の中で、特に魅力的で観光資源としての活用が期待される箇所が「日本美しい森 お薦め国有林」として全国93箇所選定されています。選定箇所のひとつ「飛騨白山白川郷自然休養林」は、白山(標高2,702m)の麓に広がる亜高山帯の森とエメラルドグリーンに輝く白水湖周辺には、毎年夏山シーズンには多くの人々が訪れ、素晴らしい自然を満喫いただいています。

名古屋林業土木協会荘川支部(小坂健太郎 支部長)では、その自然休養林内にある「白水の森」、「白水湖」周辺の整備に毎年継続して取り組んでおり、今年で14回目を迎えました。

飛騨森林管理署砂留直浩森林技術指導官、白川森林事務所熊澤智史森林官のご参加いただく中、会員9名により遊歩道周辺の枯木の除去、遊歩道や園地の草刈り、危険箇所への立ち入り禁止ロープの補修などに取り組みました。



3

すべての人に健康と福祉を



6

安全な水とトイレを世界中に



11

住み続けられるまちづくりを



15

陸の豊かさも守ろう



17

パートナーシップで目標を達成しよう



北アルプスへの登山道の整備

令和5年8月1日 神岡支部

各地の観光地では多くの観光客がみられるなど、コロナ禍前の日常が戻りつつありますが、名古屋林業土木協会神岡支部(加藤勝支部長)では本格的な夏山シーズンを迎え例年以上に入山者が見込まれている、中部山岳国立公園の山岳部(北アルプス)へ通じる登山道一部の除草作業を行いました。この取り組みは北アルプスを訪れる登山者が安全で快適な登山ができるよう登山道等の維持補修や周辺環境の保全に取り組んでいる「北アルプス登山道等維持連絡協議会」からの依頼を受けて取り組まれたものです。北アルプスの登山道は、山小屋を中心とした関係者の労力と資金、それらを支援する行政の取組によって維持されてきましたが、近年、ヘリコプター輸送費の上昇や登山道被害の増加、コロナ禍など、環境の変化により、これまでの枠組で登山道を維持し続けることが難しくなっており今後の維持のあり方について関係者が参集し検討されています。



3

すべての人に健康と福祉を



6

安全な水とトイレを世界中に



11

住み続けられるまちづくりを



15

陸の豊かさも守ろう



17

パートナーシップで目標を達成しよう



日本三大山城「岩村城址」美化活動

令和5年8月10日 付知 坂下 中津川支部

例年8月の祝日「山の日」の前に、協会は中部森林管理局が推奨する森林・林業社会貢献活動の一環として、名古屋造林素材生産事業協会と協働して岩村城址や、薪能会場となる岩村歴史資料館周辺の森林づくり活動(環境整備作業)に取り組んでいます。

今年も、付知、中津川、坂下支部会員27名で、史跡と一体となって、文化的・歴史的価値のある景観を構成している岩村城址周辺の草刈りや、駐車場からの雨水対策、国道から城址までの市道刈り払い等を分担し作業しました。



3

すべての人に健康と福祉を



6

安全な水とトイレを世界中に



11

住み続けられるまちづくりを



15

陸の豊かさも守ろう



17

パートナーシップで目標を達成しよう



「白草山」への登山道整備

令和5年8月25日 小坂支部 下呂市役所農林部 岐阜森林管理署

名古屋林業土木協会小坂支部(新井雅支部長)では、下呂市役所農林部と協働で白草山(しらくさやま、標高1,641m)の登山道につながる林道の除草や案内看板の清掃作業に取り組みました。

白草山へ通じる登山道は、下呂市(山内登市長)が維持管理する広域林道下呂萩原線と岐阜森林管理署(駒瀬勉署長)が管理する黒谷林道を経由して登山道に入ります。

下呂市ではここ数年、H30以降に連続した豪雨災害の復旧対応や取り巻く厳しい予算事情の中で、市道の法面、路肩の除草等維持管理が困難となっている中、特に林道については顕著となっており笹や灌木の繁茂により一般登山者の車と岐阜森林管理署発注事業者による大型車両とのすれ違い等が困難なところもあり安全に通行することが課題となってきました。



3

すべての人に健康と福祉を



6

安全な水とトイレを世界中に



11

住み続けられるまちづくりを



15

陸の豊かさも守ろう



17

パートナーシップで目標を達成しよう



「白木峰」登山道への林道整備

令和5年9月2日 古川支部

名古屋林業土木協会古川支部(柳七郎支部長)では、昨年に続き、白木峰の登山道につながる林道の除草・整備作業をフォレスト・サポーターズ活動の一環として実施しました。この林道は飛騨森林管理署(高山市:牛尾光署長)が管理する万波林道です。

白木峰(しらきみね:標高1,596m)は、富山市と飛騨市の県境に位置し、山頂に広大な草原と様々な高山植物がみられるのが特徴です。白木峰を中心に富山市と南砺市にまたがって「白木水無県立自然公園」に指定され、日本三百名山、ぎふ百山にも選定されています。

岐阜県側からは飛騨市宮川町の万波川上流部の小坂谷からの登山コース(およそ3時間)がありますが、これまで入り込み者が少ないことから日常整備されていないため笹藪が繁茂し危険な箇所も不明であるため、飛騨市においては安全な登山をしていただくためにも登山道の再整備と周辺環境の保全が課題となってきました。



3

すべての人に健康と福祉を



6

安全な水とトイレを世界中に



11

住み続けられるまちづくりを



15

陸の豊かさも守ろう



17

パートナーシップで目標を達成しよう



「定光寺自然休養林」 森林整備

令和5年10月11日

愛知支部 名古屋造林素材生産事業協会愛知支部 愛知森林管理事務所

名古屋林業土木協会愛知支部(安藤和央支部長)では、名古屋造林素材生産事業協会愛知支部と合同で「定光寺自然休養林」の森林交流館駐車場や丸根山園地等の施設周辺の草刈り清掃をフォレスト・サポーターズ活動の一環として実施しました。

定光寺自然休養林は林野庁中部森林管理局愛知森林管理事務所(加藤孝 所長)が管理する瀬戸国有林に開設されており、全区域が愛知高原国定公園に指定されています。

一帯はスギ・ヒノキ・マツなどの人工針葉樹林とカシ・シイなど天然広葉樹林からなる森林で、東海自然歩道をはじめ、多くの登山道・遊歩道が通っており、野鳥のさえずりを聞きながら森林浴が楽しめます。近隣には、尾張徳川家の菩提寺で桜と紅葉の名所としても有名な定光寺などの史跡・名勝があり、四季を通じて名古屋都市圏の野外レクリエーションの場として利用されています。



3

すべての人に健康と福祉を



6

安全な水とトイレを世界中に



11

住み続けられるまちづくりを



15

陸の豊かさも守ろう



17

パートナーシップで目標を達成しよう



絶景紅葉「川浦溪谷」 美化作業

令和5年10月21日 岐阜支部 岐阜森林管理署岐阜西部治山事業所

岐阜支部(所克仁支部長)では、10月21日(土)に岐阜県関市で開催される「せきサイクル・ツーリング2023in板取川」に先立ち、10月18日(水)に民有林直轄治山事業実行現場近くのコース終点まで約1.5kmにわたって道路整備を実施しました。

「せきサイクル・ツーリング」は、今年で9回目の開催となり、関市武芸川地域から高賀神社を經由し板取地区「川浦溪谷」まで、時間やスピードを競うのではなく、安全な走行で気軽にのんびり走るツーリングイベントです。川沿いを自転車で走り、地域の名産品(清流板取川のアユが入った雑炊など)を食べることができるとあって約85kmのロングコースと約50kmのショートコースに毎年多くの参加者が訪れています。



3

すべての人に健康と福祉を



6

安全な水とトイレを世界中に



11

住み続けられるまちづくりを



15

陸の豊かさも守ろう



17

パートナーシップで目標を達成しよう



「古城山」登山道の整備

令和5年12月14日 岐阜支部 岐阜森林管理署

古城山国有林(岐阜県美濃市)において名古屋林業土木協会岐阜支部(所克仁支部長、会員5社)による登山道整備が行われました。岐阜支部ではこの活動を平成20年から毎年取り組んでおり今年で16回目となりました。

遊歩道への落葉等堆積で滑りやすくなっているところや破損箇所の整備のほか、歩道にかかる倒木の除去をチェーンソーで切除し安定化させるなどの措置を行いました。

古城山(437.1m、標高差300m)は、美濃市の運動公園に隣接し、この運動公園を発着地とした登山道(遊歩道)が整備されているため、年間を通じて登山者や体力作りに励む地域住民の多くの方々に利用されています。

しかし整備されている反面、維持管理(美濃市)するにあたっては、繁茂する雑草、灌木・枯れ木除去、落葉等による歩道への堆積、大雨による土砂の流れ込みなど、定期的な維持が必要となっています。



3

すべての人に健康と福祉を



6

安全な水とトイレを世界中に



11

住み続けられるまちづくりを



15

陸の豊かさも守ろう



17

パートナーシップで目標を達成しよう



青年部研修会「郷土の森」環境整備

令和5年10月25日 名古屋市熱田区「郷土の森」
青年部 中部森林管理局名古屋事務所

名古屋林業土木協会では次代を担う人材育成の一環として青年部を組織しており、毎年、研修会や有識者等をお招きした勉強会や意見交換会を通じて、部員の資質の向上に取り組むとともに、各地域において国有林野をフィールドとする社会貢献活動などにも積極的に取り組んでいます。

また、部員の更なる見聞を広め、より地域等の期待に応える活動を進めていくことを目的に毎年研修会を開催していますが、今年度の研修会は10月25日(木)、名古屋市において、林野庁中部森林管理局長 今泉 裕治様に講演をしていただきました。今回は研修会に先立ち、部員36名が、国有林の社会貢献活動として名古屋市熱田区の「郷土の森」の剪定作業と環境整備を実施しました。



3

すべての人に健康と福祉を



4

質の高い教育をみんなに



9

産業と技術革新の基盤をつくろう



11

住み続けられるまちづくりを



15

陸の豊かさも守ろう



17

パートナーシップで目標を達成しよう



令和5年度 林業土木技術講習会を開催

令和5年5月24日～25日 高山市「飛驒・世界文化センター」

事務局から2日間にわたる講習会の概要説明の後、新井雅 安全・技術対策委員長から適正な施工管理が可能となるよう林野庁や森林管理局への各種の改善要望等に協会として努めており、それに対する回答内容や働き方改革の推進のため現場作業の効率化や安全確保など委員会として取り組みについてお話しいただき、その後、柳七郎 環境・社会貢献委員会委員長から、国有林防災ボランティア協定に基づく災害被害状況調査や社会貢献活動の取組状況、建設業におけるコンプライアンスと企業倫理で工事現場での不適切な事例を紹介され建設現場での関係法令遵守の重要性と注意喚起など講義をいただきました。



3

すべての人に健康と福祉を



4

質の高い教育をみんなに



11

住み続けられるまちづくりを



14

海の豊かさを守ろう



15

陸の豊かさを守ろう



17

パートナーシップで目標を達成しよう



「新技術・新工法」プレゼンテーション

令和5年6月30日 長野市 中部森林管理局

中部森林管理局が募集した(4月10日付け)「新技術・新工法」の提案募集について、21件の提案があり、去る6月30日(金)に中部森林管理局(長野市)において「技術プレゼンテーション」(発表会)が開催されました。

名古屋林業土木協会からは、金子工業(株)、(株)長瀬土建、(株)ライズの3会員からそれぞれ提案が提出されていました。



金子工業(株) 田口正勝さん



(株)長瀬土建 長瀬雅彦



(株)ライズ 依田光宏さん

3

すべての人に健康と福祉を



4

質の高い教育をみんなに



8

働きがいも経済成長も



9

産業と技術革新の基盤をつくろう



11

住み続けられるまちづくりを



12

つくる責任 つかう責任



15

陸の豊かさを守ろう



17

パートナーシップで目標を達成しよう



林土連技術現地研修会

令和5年11月6日～7日 仙台市

林土連技術現地研修会が、仙台市ホテルメトロポリタン仙台において「仙台湾海岸防災林の再生」をテーマに開催されました。

室内研修では東北森林管理局から宮澤俊輔局長、唐澤智森林整備部長、玉舘力治山課長、竹中篤史仙台森林管理署長をお迎えし、全国から参加した会員含め総勢150名が出席されました。名古屋協会からは三尾秀和会長ほか副会長、各委員長、事務局含め7名が出席しました。2日目はバス6台に分乗し、東日本大震災での大津波で被災し現在は震災遺構として一般公開されている「仙台市立荒浜小学校」を視察しました。

小学校の屋上では仙台森林管理署が復旧事業を行った「仙台湾沿岸地区海岸防災林復旧事業」の現地を、竹中篤史仙台森林管理署長からのご説明をいただきつつ海岸防災林の復旧状況を視察しました。



3

すべての人に健康と福祉を



4

質の高い教育をみんなに



11

住み続けられるまちづくりを



15

陸の豊かさも守ろう



17

パートナーシップで目標を達成しよう



富山森林管理署との意見交換会

令和5年3月7日 富山支部

株式会社新栄建設株式会社会議室において、富山森林管理署との意見交換会を開催しました。署から、中島章文署長、山田茂樹総括治山技術官、乾裕太治山技術官、城内優希治山技術官にご出席頂き、支部会員10名が参加しました。

意見交換会では、会員からの主な要望として、主任技術者が複数兼務する場合の週休二日制の適用について、支障木伐採許可の速やかな処理を、BIM/CIMで効率化の取り組みを、待避場所の設計計上を、通信設備の設置等(スターリンクの導入)現場作業環境の向上を、協議や設計変更は速やかに対応して欲しい、著しく損傷する林道の補修(生産事業との連携)、落石多発地帯での法面保護を、橋梁点検の現況は、仮設材(敷鉄板等)の運搬費計上を、検査方法(段階検査、抜き取り検査等)、ドローン活用などについて活発な質問や要望が出されました。



3

すべての人に健康と福祉を



4

質の高い教育をみんなに



8

働きがいも経済成長も



9

産業と技術革新の基盤をつくろう



11

住み続けられるまちづくりを



15

陸の豊かさも守ろう



17

パートナーシップで目標を達成しよう



岐阜森林管理署との意見交換会

令和5年3月7日 小坂支部

株式会社熊崎組会議室において、岐阜森林管理署駒瀬勉署長及び永瀬庄栄次長と小坂支部会員代表者9名との意見交換会を開催しました。

意見交換会では、岐阜森林管理署から、

- ・令和5年度 岐阜森林管理署の取組について
- ・国有林における請負事業体等の労働安全の確保について
- ・令和5年度 山地災害防止 標語及び写真コンクール作品募集
- ・山地災害に備える

以上について、ご説明いただき、その後会員からの質疑・要望と言った意見交換を行いました。



飛騨森林管理署との意見交換会

令和5年10月12日 飛騨4支部 治山・林道工事監督職員等

飛騨森林管理署会議室において飛騨森林管理署主催による(一社)名古屋林業土木協会飛騨4支部の会員企業11社の現場代理人と飛騨森林管理署治山・林道工事監督職員等との意見交換会が開催されました。

会議では、川本淳総括治山技術官から、今会議について「対話が重要であり、知識・技術の横への広がりが重要であるので重い雰囲気にならないよう気楽な対話をしたい。品確法制定後よりよいものを受・発注者で作っていくことが重要になっている」と意見交換会の趣旨を説明をされ、林土連へ提出するため協会通じて各会員から提出された今年度の改善要望事項のうち、飛騨4支部から提出された項目についてそれぞれ回答説明をいただきました。

会議での後半では、現場の施工管理に関することや現場の実情等、ざっくばらんな意見交換が行われ現場代理人全員から活発な発言がありました。



愛知森林管理事務所との意見交換会

令和5年12月12日 愛知支部 治山・林道工事監督職員等

愛知森林管理事務所会議室において愛知森林管理事務所主催による(一社)名古屋林業土木協会愛知支部の会員企業5社と愛知森林管理事務所の治山・林道工事監督職員等との意見交換会が開催されました。

会議では、岡庭 敏夫 総括治山技術官から、意見交換会の趣旨を説明をされ、林土連へ提出するため協会通じて各会員から提出された今年度の改善要望事項のうち、愛知支部から提出された改善要望項目について

それぞれ回答説明をいただきました。また、今年6月に中部森林管理局において「選ばれる森林土木」の取組について林野庁キャラバンが開催された内容を説明されました。

会員からは、・建設機械借り上げの運搬費、・小規模治山工事の見積対応、・適切な変更協議の対応(実際にかかったものはみてもらいたい)など意見要望が出されました。



3

すべての人に健康と福祉を



4

質の高い教育をみんなに



8

働きがいも経済成長も



9

産業と技術革新の基盤をつくろう



11

住み続けられるまちづくりを



15

陸の豊かさも守ろう



17

パートナーシップで目標を達成しよう



合同安全パトロール 森林管理署 労働基準監督署 各支部



東濃3支部



小坂支部



岐阜支部



富山支部



飛騨4支部



愛知支部

3

すべての人に健康と福祉を



4

質の高い教育をみんなに



11

住み続けられるまちづくりを



12

つくる責任 つかう責任



17

パートナーシップで目標を達成しよう



能登半島地震被災地への対応

令和6年1月6日 1号車（株式会社長瀬土建）2号車（株式会社所組）搬送

中部森林管理局と名古屋林業土木協会との間で協定締結している国有林防災ボランティア制度に関する協定に基づき今般の能登半島地震被災地への緊急支援を行いました。

富山、岐阜、愛知県内の森林管理署等及び当協会各各会員企業が提供可能な資材について石川県庁への運搬の協力依頼があったものです。

1号車（株式会社 長瀬土建）は飛騨森林管理署を10時に出発し12時に石川県庁へ搬送しました。

2号車（株式会社 所組）は岐阜県本巣市（会社）を8時に出発し（岐阜支部会員5社分積載）岐阜森林管理署で資材を追越し12時に出発、15時に石川県庁へ搬送を完了しました。

2台のトラックが搬送した支援物資は、岐阜県内各森林管理署等（飛騨、岐阜、東濃、技術センター）及び富山森林管理署と、名古屋林業土木協会6支部（神岡、古川、荘川、久々野、高山、小坂、岐阜）からブルーシート560枚、土嚢袋3,020袋（うち1t袋450袋）、アンカー、PPロープ、立入禁止テープなどです。



令和3年4月1日



一般社団法人名古屋林業土木協会のSDGs宣言

会長 三尾 秀和

一般社団法人名古屋林業土木協会は、岐阜、愛知、富山管内の国有林内の林業土木に携わる会員の技術の向上、経営基盤の強化等に関する事業を行い、もって国土の保全及び地球環境の保全並びに林業土木事業の発展に寄与することを目的として活動している団体です。建設業としての林業土木は森林の保全インフラ整備や防災、更には環境、エネルギーといった人々の暮らしに大きく深くかわりこれを担っている業界。まさにSDGsのあらゆる局面に関与しています。フォレストサポーターズ活動にも積極的に参加し、日々研鑽し、地域に必要とされる林業土木業界として活動します。

SDGsの考え方である、精神的な豊かさや価値観が合う生き方、共感社会になっていくという動きを理解して、我々協会員一人一人が本気でSDGsを行動につなげ、お客様や地域から信頼され、持続可能な地域社会の創造に貢献できるように尽力していきます。

一般社団法人名古屋林業土木協会は、SDGsを社会貢献の一つとして考えるのではなく『一致団結し確実な協会活動を行うこと＝SDGsの目標達成』と考えています。

